

整備内容及び利用状況

倉庫改修(外観)



施工前



施工後

倉庫改修(倉庫内)



施工前



施工後

利用状況

○小名浜さんかく倉庫  
 入館者概数：445,250人（H20.4.20～8.31）  
 いわき・ら・ら・ミュウの増収・増益につながっており、相乗効果となっています。

管理状況

・倉庫の供用開始後は、いわき市と「NPO小名浜まちづくり市民会議」が協働で管理運営。

関係機関

- 福島県いわき建設事務所 企画調査課
- 福島県小名浜港湾建設事務所
- いわき市 商工観光部 産業・港湾振興課
- 特定非営利活動法人小名浜まちづくり市民会議

TEL : 0246-24-6117  
 TEL : 0246-52-2418  
 TEL : 0246-22-1162  
 TEL : 0246-52-1275

アクアマリンパークに新たな魅力を創出

小名浜-1

小名浜地区

いわき市

小名浜港湾建設事務所  
 計画期間：H16～H19

地域づくりの方針

- ・まちの人が気軽に快適に利用できる魅力を持った空間とする。アクアマリンパーク全体が一体となった土地利用、景観としパーク全体の魅力を向上させる。まち、みなとの歴史風土を尊重し、倉庫群の面影をとどめた利活用を図る。
- ・民間活力を導入し、地域を元気にする。

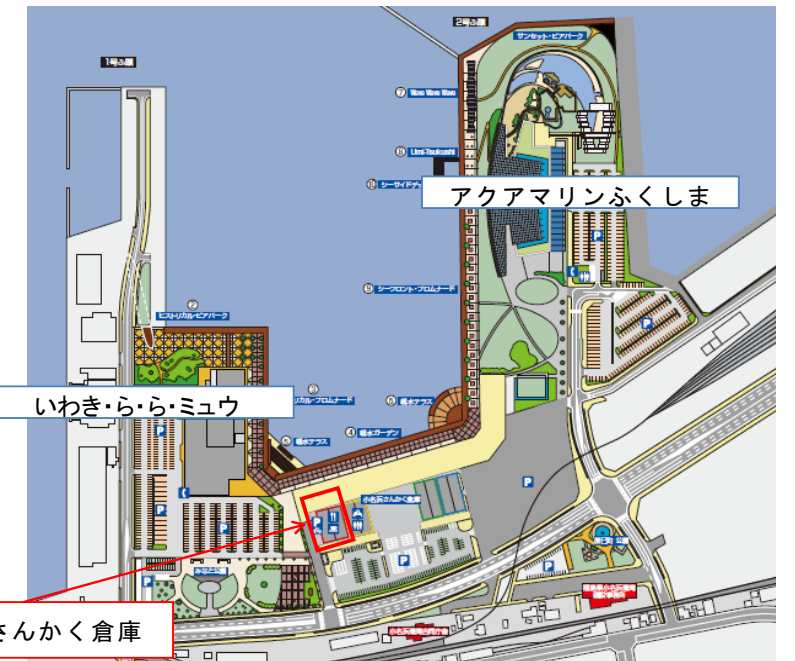
主な事業内容

小名浜の風景保全のため、使われなくなった

倉庫を交流施設として改修しました。



事業概要図



小名浜さんかく倉庫



## 地域の現状

- ・アクアマリンパークには二つの核となる施設があり、年間約200万人を越える入込み客で賑わう県内有数の観光地ですが、オープンからそれぞれ7年・4年が経過し観光客が頭打ちの状況にあります。
- ・アクアマリンパークの賑わいが、背後の市街地に及んでいません。
- ・賑わいと交流促進を図るため、二つの核となる施設間に新たな拠点を整備する必要があります。
- ・小名浜の原風景である倉庫群を、地域資源として有効に活用する必要があります。

## 地域づくりのあゆみ

- 平成16年
- ・ワークショップ、アクアマリンパーク整備計画検討会開催。
  - ・新たな賑わいのため、倉庫群整備に地域の意見を反映した基本設計を実施。
- 平成17年
- ・「アクアマリンパーク整備計画検討会」を開催。倉庫群の整備計画について最終合意。
  - ・完成後の内部の利活用に向け、市内漁協婦人部や市民団体との意見交換。
- 平成18年
- ・NPOまちづくり市民会議を中心に、各地事例視察。
  - ・民間事業会社「株式会社アクアマリンパークウェアハウス」設立。
- 平成19年
- ・1号倉庫オープンに向けNPO小名浜市民会議が内部工事を実施。
  - ・倉庫オープンに先立ち、いわき市及び小名浜地区へのアンケート調査を実施。
- 平成20年
- ・4月20日「小名浜さんかく倉庫」としてオープン。

## 実施した感想

### (県担当者)

■当該地区の整備計画を策定するにあたり、市民・港湾利用者・関係機関で構成する「アクアマリンパーク整備計画検討委員会」及び「ワークショップ」などで合意事項を反映させながら計画を実施してきましたが、委員の方やワークショップメンバーの意見も様々であり、考えを集約して方針を決定するのに苦労しました。

### (市担当者)

■県は、当初、指定管理者の導入を検討していましたが、導入が見送られ、その後の調整に大変苦労しました。最終的に、県、市、NPOで協議した結果、市が県より施設を借受け、地元NPO団体と協働で運営する方向でまとまりました。

### (小名浜まちづくり市民会議 専務理事 鈴木泰弘さん)

■まちづくりからスタート。夢の描ける地域づくりが果たして実現するかどうかがこの事業のキーであると考え、公設民営による新しい取り組みを必ず成功させなければいけないといったプレッシャーがありました。

## 元気づくりの立役者たち

アクアマリンパーク



いわき・ら・ら・ミュウ



小名浜さんかく倉庫



小名浜港



## 事業の効果

### ■小名浜さんかく倉庫を活用した新たな取り組み

まるごとしらかわ



・東白川郡4町村（棚倉町、鮫川村、埴町、矢祭町）の特産品販売をしました。

いなかみち物産展



・あぶくまロマンチック街道構想推進協議会関係町村（飯館村、浪江町、葛尾村、田村市、川内村）の特産品販売をしました。

南会津観光物産展



フラダンスinいわき



## 地域の課題・今後の展望

### (小名浜まちづくり市民会議 専務理事 鈴木泰弘さん)

■今後は、港とまちを有機的に結び事業を更に展開して行きたいと考えています。

(病院と商業施設を結ぶ循環バスなど…)

■今後もまちづくりを進めるなかで、こういった制度が継続・拡大し、地域づくりに役立つことを期待しております。また、まちづくりは持続的な取り組みであると考えておりますので、今後も小名浜で夢が描けるまちであるよう、頑張っていきたいです。